

変えよう。共に生きる社会へ。

多様性が承認され、自由・人権が尊重される社会へ——今こそ政権交代を！

街頭遊説に立つ、東京・生活者ネットワーク都議の岩永やす代と大河原まさこ衆議院議員。立川駅で



東京・生活者ネット主催のPFAS問題集会(2024年7月27日)で、大河原まさこ衆議院議員を囲む参加者。大河原さんは、2021年3月、脳出血を患い、中途障がい者となった。以後、障がい当事者の立場から公共サービスの充実を政策として訴えている



大河原まさこさん 立憲民主党衆議院議員 [東京 21 区]

おおかわら・まさこ PROFILE

- 1953 名古屋生まれ、横浜で育つ。フェリス女学院中学・高校、国際基督教大学 (ICU) 卒業。生活クラブ生協に加入し、市民政治に出会う。東京に転居、3人の子育てをしながら、食品安全条例制定運動や環境問題などに関わる
 - 1993～東京都議会議員 (東京・生活者ネットワーク 3 期 10 年)。1999～2006 東京・生活者ネットワーク代表委員
 - 2007～参議院議員 (東京選挙区)
 - 2017 衆議院議員選挙 (北関東比例) 当選
 - 2019～党東京都第 21 区総支部長就任
 - 2021～衆議院議員選挙で 2 期目の当選 (東京比例)
- 大河原まさこ事務所
● 〒190-0022 立川市錦町 1-10-25 Y・S 錦町ビル 1 階 電話：042-529-5155 FAX：042-529-5156
● 〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 517 号室 電話：03-3508-7261 FAX：03-3508-3531

東京 21 区は、八王子市の一部、立川市、日野市です。

自公政権のもと、政治の劣化が止まりません。自民党と統一教会の癒着、派閥の裏金づくりに現われる政治とカネの問題、ロシアによるウクライナ侵攻を背景に始まったエネルギー危機を理由に、原発再稼働・新增設を表明したばかりか、憲法・平和主義を踏みにじる安保関連三文書改訂、敵基地攻撃能力の保有へと進め、防衛費を 5 年間で現行計画の 1.6 倍増、戦闘継続能力を強化するとしています。

一方で、市民の生活は貧困や格差、孤立が深刻の度を増しており、働く現場では非正規雇用が常態化、男女間・若者の間での賃金格差は是正されないまま、物価高騰と相俟って命と暮らしの安心を脅かしています。

生活者ネットワークは、「政治は市民の生活課題を解決するための道具」と考え、活動してきました。大河原まさこさんは、生活者ネットワークの都議会議員時代をスタートラインにおく市民政治のパイオニア、私たちの仲間です。「命と暮らしの安心」を基本に、多様な人々が「共に生きる社会」をつくりたいとの、大河原さんの思いは今も変わりません。

石破新総理が誕生しましたが、自民政権の下では、私たちの暮らしは変わりません。生活者ネットワークは、多様性が承認され、自由・人権が尊重される社会、持続可能な暮らしの豊かさを実感できる政治の実現をめざし、おおぜいの市民とともに積極的に国政選挙に取り組みます。

ともに、政権交代をめざしましょう。

●生活者ネットワークは東京都内 32 の自治体にあり、都議 1 人、市・区議 39 人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」「国政問題」には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

国立市・国分寺市  ● 岩永やす代 東京・生活者ネットワーク都議会議員	立川市  ● あべみすみ 東京・生活者ネットワーク市議会議員	日野市  ● 白井なおこ 日野・生活者ネットワーク市議会議員	八王子市  ● 金子アキ 八王子・生活者ネットワーク市議会議員	八王子市  ● 玉正さやか 八王子・生活者ネットワーク市議会議員
---	---	---	---	---

